

4年間の流れ

2024年度（予定）

卒業に必要な単位：124単位

専門教育科目:70単位
 全学共通科目:26単位
 広域選択:28単位

■ 必修:26単位
 ■ 選択必修:20単位
 ■ 選択:24単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	必修の入門科目と実習科目によって、地理学の基礎を幅広く学ぶとともに初歩的な分析手法を修得する。	多彩な専門科目の中から各自の興味に応じて学びを深める。	フィールド調査を含んだ必修科目によって、野外での調査手法を修得する。	3年間学んだことを基に、卒業論文に取り組む。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 自然地理学入門 人文地理学入門 ① 自然地理学実習（地図学実習含む） 人文地理学実習（地図学実習含む） 	<ul style="list-style-type: none"> 地図学A/B ② 		<ul style="list-style-type: none"> 地理学演習 卒業論文
選択必修		<ul style="list-style-type: none"> 地域統計分析法A/B 村落地理学A/B 都市地理学A/B ③ 社会地理学A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 交通地理学A/B ④ 文化地理学A/B 景観地理学A/B ⑤ 歴史地理学A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 地域研究論A/B 経済地理学A/B
選択	<ul style="list-style-type: none"> 測量学 地理情報論 GIS実習 まちづくり論A/B 地域調査入門A~F 地域概論A/B 応用地図学実習 	<ul style="list-style-type: none"> リモートセンシングA/B 地形学A/B 地形環境調査実習 気候学A/B 気候学実習 水文学A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 水文学実習 土壌地理学A/B 環境地理学A/B 生物地理学A/B 地球物理学A/B 文化生態学A/B 人口地理学A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 計量地理学実習 歴史地理学実習 日本地誌A/B 外国地誌A~F 地理学特講A~I 外書講読A/B 第四紀学A/B
				<ul style="list-style-type: none"> 観光地理学 ⑥ 応用地理学A/B 地域計画論A/B 地質学A/B 海外研究A~D 民法（総則・物権法）
				<ul style="list-style-type: none"> 登記法

① 人文地理学入門

地理学の全体像を把握し、日本の地域性を理解するのが目標です。6名の担当者がそれぞれの専門領域について講義することで、地理学の基礎についての網羅的な知識を身に付けます。

② 地図学

前期は、地図の歴史や作製方法といった基礎を学習。後期には、地震や洪水防災、人口などの分布、土地の利用方法など、さまざまな主題を示した地図について成り立ちや読み方を学びます。

③ 都市地理学

ヒト・モノ・情報が集まり、絶えず変化し続けている都市のシステムや構造、機能を理解し、都市に暮らす住民の行動や生活環境に関する諸問題について考える力を養います。

④ 交通地理学

衰退をたどる公共交通ですが、環境問題や超高齢社会問題を考えると欠かせない存在です。本講義では、ヨーロッパの事例と比較しつつ日本の公共交通の特徴と課題について検討します。

⑤ 景観地理学

この講義では文学作品や旅行ガイドブックなども取り上げ、景観のさまざまな見方や読み方を学びます。この講義を受けると、目の前の景色が違ったものに見えます。

⑥ 観光地理学

観光は地域経済を活性化させるだけでなく、各地で観光客と住民の双方に元気をもたらしています。この講義では、地域の個性を活かした住民参加型の持続可能な観光の在り方を学びます。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 斜面都市熱海に見る土地利用の特性—特に高齢化地域に着目して—
- 横浜市鶴見区潮田地区における沖縄系コミュニティの存続・変容要因
- トンレサップ湖北西部シェムリアップ川河口付近の水上住居の分布とその変化の要因
- 参加型GISの現状と市民利用の実態—千葉県浦安市を事例に—
- クラフトビールのラベルに見る地域アイデンティティ
- 団地建替事業に伴う防災とまちづくり—茅ヶ崎市南西部を事例に—